

# 多くの人に愛される「住みたいまち」を目指して

明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、お健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、今なお世界中で猛威を振るい続けている新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年であり、私たちの生活に様々な変化をもたらしました。

そのような中で、昨年4月、大分県がアメリカの人工衛星打ち上げ企業のヴァージン・オービット社と、大分空港を宇宙港として活用するためのパートナーシップを締結し、最速で2022年の打ち上げを目指すとの発表がありました。コロナ禍の中、素晴らしい夢のような話であり、アジア初の宇宙港となる大分空港の地元市としても、できる限りの支援や

協力を行ってまいりたいと考えております。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大を機に、都市部での生活や働き方を見直す人が増え、地方移住への関心が高まっています。

本年は、4K・8Kの高画質でのケーブルテレビ視聴や光インターネットの利用環境整備を実施し、ケーブルテレビ施設の市内全域での光化を目指すとともに、利便性の高い好条件の場所を住宅地として造成し、子育て世代や住み替えを望ま

れる方々に提供する「移住定住の促進」に取り組んでまいります。

また、基幹産業である第一次産業に重点を置き、様々な施策を講じるとともに、コロナ禍での新たな販路開拓のため、九州一の経済都市である福岡市での期間型テナショップ開設や物販催事を通じて、市の特産品等のPRを推進してまいります。

市いたしましたしましては、地道に産業を興して仕事をつくり、子育てや教育の充実に取り組むこ

とが、人口減少に歯止めをかけ、持続可能なまちづくりを実現する近道であると考えております。本年も、国東市が多くのの人に愛され、住みたいまちになるよう、全力を尽くしてまいりますので、皆さまの一層のお力添えをお願い申し上げます。

結びに、市民の皆さまにとりまして、本年の干支である丑年にあやかり、一歩でも二歩でも堅実に、そして希望の持てる素晴らしい年になりますようご祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。

# 令和3年 迎春

新年明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素から議会に對しまして多大なるご理解とご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

私は、昨年5月議会におきまして、議員各位のご推挙をいただき、議長に就任いたしました。微力ではございますが、国東市の発展のため全力を傾注してまいります。

さて、昨年を振り返りますと、7年8カ月ぶりに首相が交代し、菅義偉氏が第99代首相に就任しました。コロナ禍対策や経済再生、公約に掲げている中央省庁の縦割りや既得権益、悪しき前例主義の打破等は

大いに期待したいところです。

また、昨年は新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい、先行きが見えない状態が続いています。感染の拡大に伴い、政府によるイベントの自粛要請に続いて、小中学校や高校に一律休校を要請したことで、社会は大混乱となりました。誰もが経験したことのない、不安な一年となりました。

一方で明るいニュースとして、昨年4月、大分県はアメリカのヴァージン・オービット社と提携し、大分空港を人工衛星打ち

上げ拠点のスペースポート(宇宙港)とする計画を発表しました。翌日の新聞では、大分空港がスペースポートとして選定されればアジア初であり、関連ビジネスの拡大などの産業振興が期待できると報道されてきました。市議会といたしまして

も、千載一遇のチャンスと捉え、今後とも注視していききたいと考えています。

本年7月には、延期となった東京オリンピック・パラリンピック競技大会が始まります。東京から大きな感動と勇気を生

国東市議会議長  
大谷 和義

国東市長  
三河 明史

安心して生活できる豊かなまちづくりに寄与